

石川直樹

この星の光の地図を写す

Saturday, April 7, 2018

— Sunday, June 10, 2018

The Museum of Art, KOCHI

Naoki Ishikawa

Capturing the Map of Light on This Planet

高知県立美術館

2018年4月7日〈土〉 — 2018年6月10日〈日〉



開館時間 / 9:00—17:00(入場は16:30まで) ※会期中無休。展覧会初日は10:00からの開展示終了後より開場。

入場料 / 一般前売 880円、一般 1,100円(880円)、大学生 800円(640円)、高校生以下無料

※()内は20名以上の団体割引料金 ※年間観覧券所持者(2,580円)は無料 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳及び被爆者健康手帳所持者とその介護者(1名)、高知県及び高知市の長寿手帳所持者は無料

前売券販売所 / 高知県立美術館ミュージアムショップ、高知プレイガイド、高知市文化プラザミュージアムショップ、高知大丸プレイガイド、サニーマート(毎日屋、一部店舗を除く)、高知県庁生協売店、こうち生活協同組合、ホームセンターマルニ・イエローハット(高知県南国店のみ)、アシストファーム・ホームセンターハマート(一部店舗を除く)、金高堂書店、ローソンチケット(Lコード 62529) ※ローソンチケットのみ高知県外店舗でも販売

高知県立美術館 開館25周年記念 石川直樹 この星の光の地図を写す

2018年4月7日(土) — 2018年6月10日(日)

世界をフィールドに活躍する写真家、石川直樹(1977-)の個展を開催します。

石川は14歳の時に生家のある東京からひとり電車を乗り継ぎ、単身で高知を訪れました。この旅が冒険の原点となり、17歳でインドに一人旅、22歳で北極点から南極点までを人力で踏破、23歳では七大陸最高峰の登頂に成功しました。その後も国内・世界各地を旅し、人類学や民俗学などの観点を取り入れた独自のスタイルで写真を撮り続けています。

本展では、北極や南極、世界第二位の高峰K2といった極地の風景を写した各シリーズ、太古の壁画を訪ね歩いて撮影したシリーズ《NEW DIMENSION》、人類の移動の航跡をたどって南太平洋の島々を旅した《CORONA》など、初期から現在に至るまでの活動の軌跡を、石川による文章や実際の旅で用いた道具類を交えて総合的に紹介します。

国境という人工的な区分に捕らわれず、自らの足で訪ね、自らの目で見たという確かな実感に裏打ちされた石川の写真は、個人の冒険の記録というだけでなく、世界各地の文化が有機的につながっている様をもとらえたものです。彼が今なお縦横に続ける旅は、文化人類学的なフィールドワークであると同時に、自身の身体そのもので世界の広がりを探求する果てしない試みでもあります。

本展は、石川のまなざしを反映した写真の数々を通して、新たな視点から「この星」を見つめるきっかけとなるでしょう。

石川直樹(いしかわなおき)

1977年東京生まれ。写真家。東京芸術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。人類学、民俗学などの領域に関心を持ち、辺境から都市まであらゆる場所を旅しながら、作品を発表し続けている。『NEW DIMENSION』(赤々舎)、『POLAR』(リトルモア)により、日本写真協会新人賞、講談社出版文化賞。『CORONA』(青土社)により土門拳賞を受賞。著書に、開高健ノンフィクション賞を受賞した『最後の冒険家』(集英社)ほか多数。最近では、ヒマラヤの8000m峰に焦点をあてた写真集シリーズ『Lhotse』『Qomolangma』『Manaslu』『Makalu』『K2』(SLANT)を5冊連続刊行。最新刊に写真集『知床半島』(北海道新聞社)、『Svalbard』(SUPER LABO)がある。



主催 / 高知県立美術館、さんさんテレビ

後援 / 高知県教育委員会、高知市教育委員会、高知新聞社、KCB高知ケーブルテレビ、エフエム高知、高知シティFM放送
協力 / SCAI THE BATHHOUSE、産経新聞社

企画協力 / 水戸芸術館現代美術センター

表面写真:「K2」(2015) 裏面写真:左から「THE VOID」(2005)、「VERNACULAR」(2008) ※全てシリーズ作品、()内は発表年

高知県立美術館 THE MUSEUM OF ART, KOCHI 〒781-8123 高知市高須 353-2 Tel.088-866-8000 Fax.088-866-8008 http://moak.jp

本展は一部撮影OKです

展覧会の様子や画像をSNS でシェアしよう!

#石川直樹 #高知県立美術館

関連企画

アーティストによるギャラリー・トーク

石川直樹氏本人が作品にまつわるエピソードを語りながら、展示会場を巡ります。

日時: 4月7日(土)11:00—
集合場所: 石川直樹展 第1会場入口
料金: 無料(要当日観覧券)
※事前申込不要

アーティストによる最新ヒマラヤトレッキング報告会

本年4月から5月にかけて、今夏のK2遠征に向けた高所順応のため、ヒマラヤのカンチェンジュンガ山麓に向かう石川氏。世界第三位の高峰のベースキャンプまでの道のりについてお話しいたします。

日時: 5月26日(土)14:00—15:30
講師: 石川直樹氏
会場: 当館1階講義室
定員: 50名
申込方法: 4月9日(月)9:00からお電話(088-866-8000)にて申込開始。先着順、無料。定員に達し次第受付終了します。

担当学芸員によるギャラリー・トーク

日時: 4/8・22・29、5/4・13、6/10、14:00—
※5/4(金・祝)以外は日曜
集合場所: 石川直樹展 第1会場入口
料金: 無料(要当日観覧券)

■ 4月29日は英語通訳付きミニトーク
Curator's talk with English translation
Date: Sunday, April 29 2:00 pm -
Venue: Exhibition room 2, 3
Free with museum admission; reservations are not necessary

■ 5月13日は手話通訳付きミニトーク
協力: 一般社団法人高知県聴覚障害者協会

ティーチャーズ・デー

高知県内の教職員の方を展覧会に無料でご招待します。担当学芸員のギャラリー・トーク付きで本展を鑑賞したのち、学校利用についてのカウンセリングを行います。図工や美術以外の先生でもご参加いただけます。

日時: 4月22日(日) 14:00—
申込方法: 4月20日(金)までにお電話(088-866-8000)にてお申込ください。

無料託児サービス

有資格のベビーシッターによる託児サービスです。ご観覧中、安心してお子様をお預けいただけます。

日時: 5月3日(木)—6日(日)(全4日)
各日2回(10:00—12:00 / 13:30—15:30)
定員: 各回10名(入替制)
料金: 無料(要当日観覧券)
場所: 当館1階講義室
申込方法: お電話(088-866-8000)でお問合せの上、申込書を4月26日(木)までにお送りください。
シッター提供: NPO法人ムッターシューレ

関連イベント

石川直樹 ミニトーク&サイン会 at 金高堂書店

本展オープンに合わせて金高堂書店で無料トークイベントを開催します。著作をご購入された方には、石川氏がサインをいたします。

日時: 4月7日(土) 18:30—19:30
場所・お問い合わせ先: 金高堂書店本店(高知市帯屋町2-2 帯屋町チェントロ1F) TEL. 088-822-0161

交通のご案内

■「はりまや橋」からとさでん交通路面電車「ごめん」「領石通」または「文珠通」行きで15分、「県立美術館通」下車徒歩5分
■とさでん交通バス「医大病院線」「美術館前」下車すぐ、「高知県立大学・医療センター線」「県立美術館通」下車徒歩5分
■高知龍馬空港からは、高知市内—空港間を結ぶとさでん交通の空港連絡バスがご利用いただけます。バス停「葛島」で下車徒歩約16分 ■車・タクシーをご利用の場合はJR高知駅から約20分、高知龍馬空港からは30分、高知自動車道南国インターから15分、高知インターから10分

